

第72期 株主通信

2022年1月1日 → 2022年12月31日

証券コード：4248

**Standoutなパッケージング
ソリューションを目指し、
豊かで楽しい生活の創造に向けて
挑戦と進化をつづけてまいります。**



代表取締役社長
竹本 笑子

トップインタビュー

株主の皆様には、平素より格別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

当社は「2030年ビジョン」のもと、「資源循環型パッケージングカンパニー」を目指して、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

2022年12月期の業績や成果をお聞かせください。

2022年の外部環境は想定を超えた厳しい1年となりました。国内ではコロナ禍における不透明感が続き、受注の勢いに回復が見られませんでした。また、中国のゼロコロナ政策は12月初旬に解除されましたが、その後も消費行動が回復せず、また、新たな容器の受注が減少したことから、中国市場における事業は営業損失となりました。

これらの結果、2022年12月期の業績について、売上高は148億85百万円(前期比5.6%減)となりました。また、資源高の影響からコストが大幅に増加し、営業利益は8億36百万円(同52.4%減)、経常利益は9億8百万円(同50.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億68百万円(同69.1%減)となりました。

当期の成果としては、資源循環型パッケージングのラインナップ拡充により、同製品の売上高が大幅に増加しました。また、インドにおける事業は化粧品のネット販売が急拡大し、新規顧客数も大幅増となり、増収に加え、粗利ベースで黒字転換を実現することができました。

「2030年ビジョン」の取り組みについてお聞かせください。

中長期計画として掲げている「2030年ビジョン」では、アジア、欧米で販売を伸長させ、2030年のグループ売上高300億円を目指しています。当社のコンセプトを「資源循環型パッケージングカンパニー」と位置づけ、重要課題として、圧倒的なスピードの実現と「資源循環型パッケージングカン

パニー」としての開発提案力の強化に取り組んでいます。

本ビジョンにおいて、当社は、「資源循環型パッケージングカンパニー」のコンセプト実現へ向けた施策を進めています。今後製作する自社金型は原則としてカーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーに配慮した製品とする方針で、2030年の資源循環型パッケージングの売上比率を90%超と想定しています。資源循環型の新製品開発を加速させるべく、金型開発の強化や効率化など、2030年までに集中的に投資を行い、高まるサステナビリティへのニーズに対応してまいります。

2023年12月期の見通しはいかがでしょうか。

2023年12月期は、結城事業所の生産棟増設により、資源循環型パッケージングの生産能力の強化を進めています。また、EU向けに資源循環型パッケージング専用のECサイトを開設し、現地顧客への利便性の提供やブランド認知度の向上等を図ってまいります。

2023年12月期の業績につきましては、資源循環型パッケージングの需要拡大等によって、売上高は169億円(前期比13.5%増)、営業利益は13億30百万円(同59.1%増)、経常利益は13億60百万円(同49.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は9億30百万円(同152.1%増)を見込んでいます。

株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

当社は今、「資源循環型パッケージングカンパニー」への発展のタイミングにあると見ています。この機を捉え、当社の使命である「世界の器文化への貢献」を果たすべく、「2030年ビジョン」の実現にチャレンジし、世界で活躍する、日本のパッケージングカンパニーとして、Standoutなパッケージングソリューションを提供してまいります。

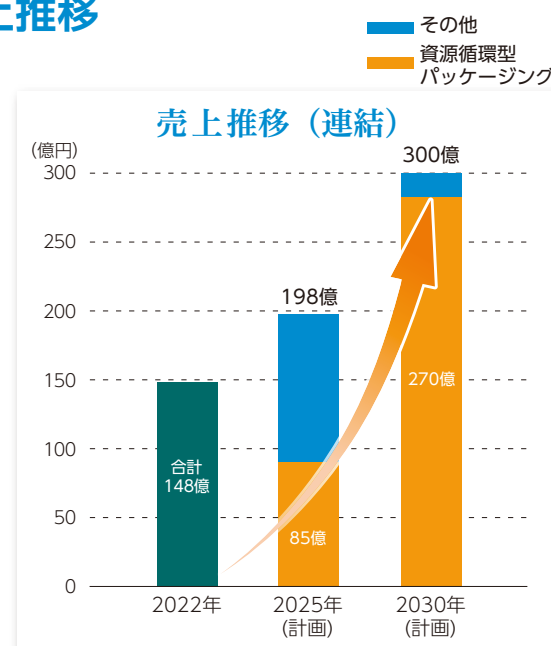
株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜われますようお願い申し上げます。

特集「資源循環型パッケージングカンパニー」を目指して

TAKEMOTOの使命は「お客様の商品である内容物の価値を安全に包み、さらにその価値と個性化を高め世界の器文化に貢献」することです。この使命を今後も果たし続けるため「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」を実現するための取り組みが欠かせないと考えています。

当社では資源循環に適した素材を活用した容器や、石化由来の原料を減らした容器（「資源循環型パッケージング」*）をスタンダードボトルとして、幅広いお客様に提供しております。
（*注：呼び名を「環境対応容器」から「資源循環型パッケージング」に変更しました）

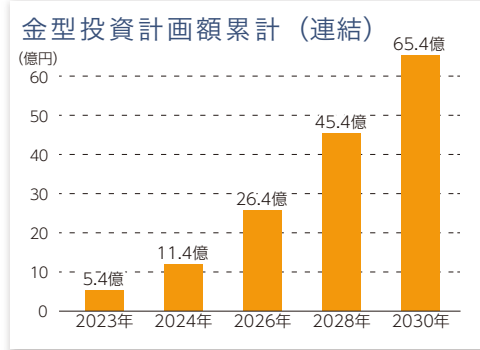
資源循環型パッケージング構成図・売上推移



資源循環型パッケージング事業規模

2030年ビジョンでは連結売上高300億円を目指しており、このうち90%が資源循環型パッケージングになると想定しています。

資源循環型パッケージングの品揃え強化のため2030年までの金型投資を65億円実施する計画です。



資源循環型パッケージング製品例

今後のTAKEMOTOの資源循環型パッケージングにご注目ください！



〔バイオマスPET〕



〔バイオマスPE〕



〔アルミ・木〕

配当について

2022年12月期の期末配当金について、お知らせいたします。

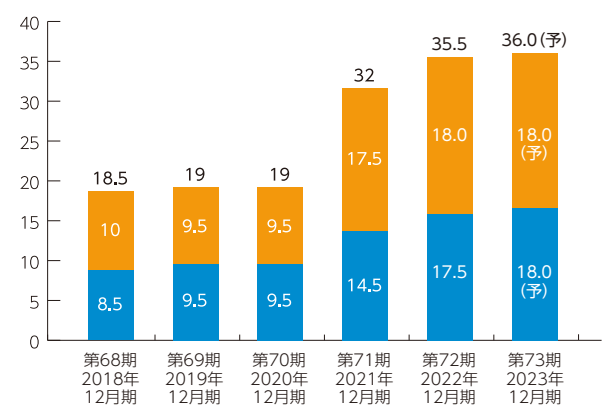
《当社の配当方針》

当社は、2024年までの期間の配当に関しては安定的な株主還元を実現する観点から純資産配当率（DOE）4.0%を目途とすることにしており、2022年12月末株主に対する期末配当金は、1株につき18円とさせていただきます。中間配当17円50銭とあわせて、年間配当金は1株につき35円50銭となり、前期比3円50銭の増配となりました。

1株当たり配当金の実績と予想

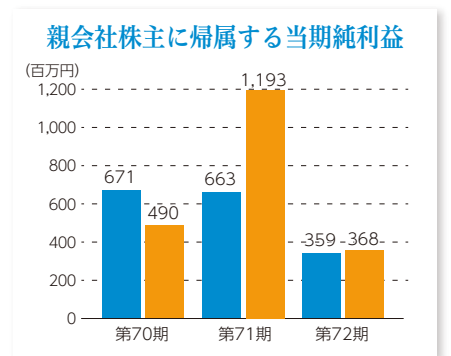
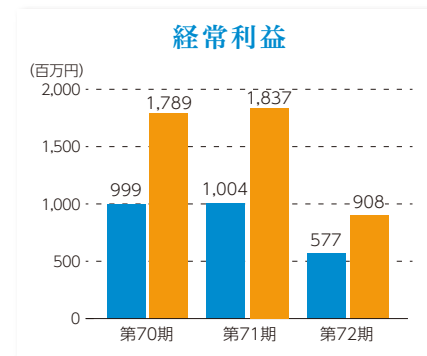
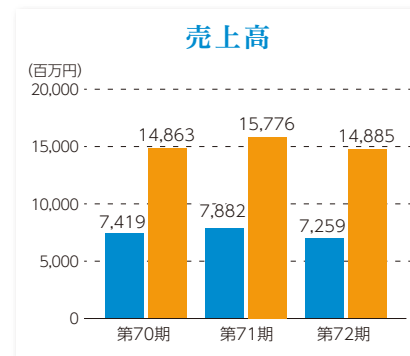
	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
来期予想(2023年12月期)	18円00銭	18円00銭	36円00銭
当期実績(2022年12月期)	17円50銭	18円00銭	35円50銭
前期実績(2021年12月期)	14円50銭	17円50銭	32円00銭

1株当たりの配当金の推移（円）
■ 中間 ■ 期末



※当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2018年12月期の1株当たり配当金の金額は、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

連結業績の推移



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

科 目	(単位：百万円)	
	第71期 2021年12月31日	第72期 2022年12月31日
【資産の部】		
流動資産	11,820	11,718
固定資産	7,156	6,900
資産合計	18,976	18,618
【負債の部】		
流動負債	4,466	4,019
固定負債	3,529	3,310
負債合計	7,996	7,330
【純資産の部】		
株主資本	10,302	10,232
その他の包括利益累計額	626	1,003
新株予約権	51	52
純資産合計	10,980	11,288
負債純資産合計	18,976	18,618

連結損益計算書(要旨)

科 目	(単位：百万円)	
	第71期 2021年1月1日～ 2021年12月31日	第72期 2022年1月1日～ 2022年12月31日
売上高	15,776	14,885
売上総利益	4,979	4,107
販売費及び一般管理費	3,224	3,271
営業利益	1,754	836
営業外収益	99	89
営業外費用	17	16
経常利益	1,837	908
特別利益	0	-
特別損失	11	0
税金等調整前当期純利益	1,826	907
法人税等	632	539
親会社株主に帰属する当期純利益	1,193	368

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	(単位：百万円)	
	第71期 2021年1月1日～ 2021年12月31日	第72期 2022年1月1日～ 2022年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,786	1,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 532	△ 803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 615	△ 732
現金及び現金同等物に係る換算差額	269	227
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	908	△44
現金及び現金同等物の期末残高	6,412	6,368

会社概要／株式の状況 (2022年12月31日現在)

会社概要

商号 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.
設立 1953年(昭和28年)5月19日
代表者 代表取締役社長 竹本 笑子
所在地 東京都台東区松が谷二丁目21番5号
資本金 8億342万1,725円
事業内容 容器の企画・開発・製造・販売

役員 (2023年3月28日現在)

代表取締役社長 竹本 笑子
常務取締役 深澤 隆弘
取締役 竹本 えつこ
社外取締役(監査等委員) 穴田 信次
社外取締役(監査等委員) 田中 達也
社外取締役(監査等委員) 石川 雅郎
社外取締役(監査等委員) 小川 一夫

株式情報

発行可能株式総数 40,997,600株
発行済株式の総数 12,529,200株
株主数 10,932名

株式分布状況



株主メモ

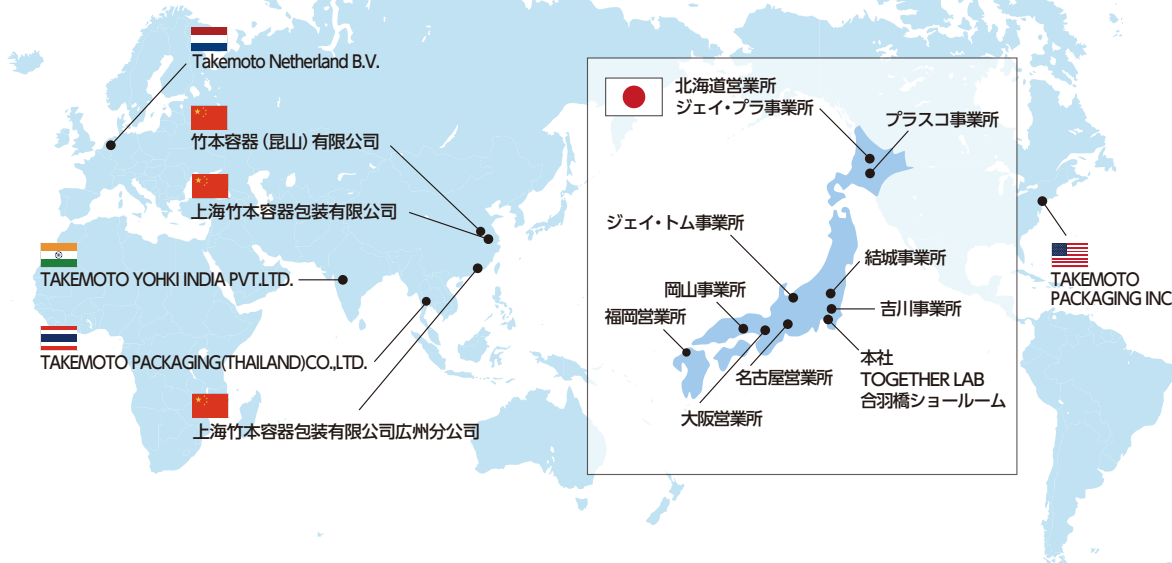
事業年度 1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日 12月31日
中間配当金受領株主確定日 6月30日
定時株主総会 毎年3月
株主名簿管理人 (同連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話0120-232-711(フリーダイヤル)
上場市場 東京証券取引所プライム市場
公告の方法 当会社の公告方法は、電子公告としております。電子公告は当社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下のとおりです。
<https://www.takemotokk.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
竹本 笑子	3,370,000	26.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	712,200	5.68
竹本容器若手持株会	641,000	5.12
竹本 えつこ	616,700	4.92
深澤 隆弘	534,600	4.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	489,200	3.90
竹本 雅英	426,000	3.40
深澤 英里子	220,000	1.76
竹本 力	200,000	1.60
山本 勝人	158,000	1.26

(注) 持株比率は、自己株式(400株)を控除して計算しております。

Global Network



本社



TOGETHER LAB



合羽橋ショールーム



竹本容器株式会社

<https://www.takemotopkg.com>



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この株主通信は地球環境に
配慮した植物油インキと
FSC®森林認証紙を使用し
ております。

〒111-0036 東京都台東区松が谷二丁目21番5号 TEL: 03(3845)6107(代表)